

No	事業名	担当課	市の評価	市の評価意見	外部評価	外部評価員意見	25年度 予算 (千円)	26年度 予算 (千円)	対応及び 担当課の考え	26年度に 向けての 市の評価
1	地域福祉推進事業	福祉課	総合計画に沿って継続	更新作業を実施することは必要であるが、本来の地域での見守りの認識が薄れてきている感があるため、住民や福祉関係者が協力して、みんなで助け合い安心して暮らせるまちづくりに向けた「新・地域見守り安心ネットワーク」となるよう見直しを含めて事業を進める。	簡易な改善	<p>地域福祉は身近なことで、助けをもらうにはどうすればいいのかわからないのが現状。実際にそうなった時にどうすればいいのかを市民に知らせたり、「新・地域見守り安心ネットワーク」の取組みを知ってもらうためにPRをさらに進めていただきたい。</p> <p>本人の意向や程度の問題ではあるが、敷居を低くして多くの方を受け入れる体制を整えていただきたい。</p>	56,947	57,769	「新・地域見守り安心ネットワーク」のPRを進め、敷居を低くし多くの方を受け入れるという意見については、「新・地域見守り安心ネットワーク」の更新手続きをわかりやすく区長さん等に説明し、理解度を深めていただき、多くの要援護者登録につなげていくとともに、広報等により市民へのPRに努めていきます。	簡易な改善
2	生活保護事業	福祉課	総合計画に沿って継続	生活保護を受けている世帯は年々増加している。須坂公共職業安定所と連携し就労支援を実施した。	簡易な改善	<p>生活保護費受給者が出来る限り自立できるようにという点や、個人の尊厳を尊重した自立できるようにという視点、また、お金だけではなく、就労支援なども行っているというポジティブな面を出して、市民に知ってもらえるよう広報することで、市民もこの事業推進を理解し、受け入れやすくなるのではないかと。</p> <p>指標に「自立による保護廃止率」を設けており、自立を促すために福祉課だけでなく、関係する部署や機関とも連携を図る意味でも、有効な指標設定である。</p>	305,550	355,429	市民に知ってもらえるよう広報することという意見をいただきましたので、広報すぎか等を利用してPRしていきたいと考えております。	簡易な改善

No	事業名	担当課	市の評価	市の評価意見	外部評価	外部評価員意見	25年度 予算 (千円)	26年度 予算 (千円)	対応及び 担当課の考え	26年度に 向けての 市の評価
3	健康増進事業 (健康教室事業)	健康づくり課	簡易な改善	事業内容の検討や他事業との調整を図りながら、健康づくりの意識を持ち実践する市民を増やす。	進め方の改善	<p>取組み指標について、参加人数となっているが、数値化できなくとも、参加者の評判等を示し、市民に有益な事業であることをアピールされた方が良い。</p> <p>参加者拡大のためにも自主サークルへの事業アピールを行うことで、市として手間暇かけずに、教室参加需要が高まるのではないかと。参加した人以外は知らない取組みではもったいない、行政が情報の発信ステーションになっていただきたい。</p>	7,528	6,396	「どんな事業なのか広く市民に伝わっていない」との意見をいただき、参加者の声や事業の様子などホームページやツイッターで市民に伝えたり、自主サークル等と連携し必要としている方に情報が伝わるようにしました。市民が健康づくりや生活習慣の改善に取り組むことができるように内容を変更し、参加したいと思う健康教室に改善していきます。	進め方の改善
4	教育奨励事業	学校教育課	総合計画に沿って継続	<p>引き続き本事業を実施することで、ふるさとに誇りを持ち、地域を好きになる学習を推進する。</p> <p>地域の方を講師にお願いするなど、地域と学校の連携の推進を図る。</p>	進め方の改善	<p>説明資料について、実施したことを列記するのではなく、年間で特にPRするものに絞って紹介するような形で行ってはどうか。</p> <p>職員の負担になる面もあるかと思うが、特色のある取り組み事例を順番に市報に掲載するなど、アピールの仕方も工夫してはどうか。</p> <p>数値が事業趣旨になじまないということも理解するが、目指している方向にどの程度進んでいるかを数値や成果などで確認する必要はある。</p> <p>市民に分かりやすく納得でき、先生方がやりがいを感じる事業成果を示すものが必要である。</p>	5,070	5,070	「アピールの仕方を工夫してはどうか」という意見をいただきました。校長会と連携を取りながら、他の学校ではどのような取り組みが行われているかわかるよう紹介の仕方を工夫していきます。	総合計画に沿って継続

No	事業名	担当課	市の評価	市の評価意見	外部評価	外部評価員意見	25年度 予算 (千円)	26年度 予算 (千円)	対応及び 担当課の考え	26年度に 向けての 市の評価
5	農業小学校運営事業	子ども課	簡易な改善	授業過程で親子の会話や出来上がったものを通して家族のふれあいを増やすこととあわせ、大学生や高校生、農家先生などとふれあうことにより、異年齢間の交流でコミュニケーション能力の向上を図る。	進め方の改善	<p>学校教育課の「教育奨励事業」は各小中学校にて行っているが、この事業は豊丘でしかできないということと、学校教育ではなく健全育成という趣旨は分かるが、他課との連携が必要ではないか。地域・学校・家庭との連携を大きな取組みと考え、将来的に連携できるように検討していただきたい。</p> <p>良い事業であるので、継続するとともに事業拡大できるのか、幅広い視点で今後の方向性を検討していただきたい。</p>	952	1,100	<p>的に連携していただきたい」という意見については、現在、学校教育課・農林課・豊丘地域公民館と連携しています。また、豊丘地域づくり推進委員会をはじめ豊丘地域のみなさん、信州大学、須坂園芸高校、保護者の参加（父母・祖父母・兄弟姉妹）の連携により事業を進めています。</p> <p>今後、豊丘地域のみなさんや庁内関係課ほか関係機関とさらなる連携を図ります。</p> <p>なお、都会の子どもたちの体験参加体制の整備推進を図ります。</p> <p>「事業拡大できるのか、幅広い視点で今後の方向性を検討していただきたい」という意見については、現在、市内全域及び市外から児童の募集をしており、参加人数に変化がないことから、将来参加児童の増加及び対応可能な体制が整いましたら事業拡大に向け検討していきます。</p>	進め方の改善

No	事業名	担当課	市の評価	市の評価意見	外部評価	外部評価員意見	25年度 予算 (千円)	26年度 予算 (千円)	対応及び 担当課の考え	26年度に 向けての 市の評価
6	わざわざ店等 開設支援事業	商業観光課	簡易な 改善	利用実態等を参考にしながら補助適用条件や補助率の見直しを行う。 また、空き店舗等の情報収集と情報の発信について検討を進める。	進め方 の改善	新規開業者支援か、商業者の次世代育成支援なのか明確な目的が見えないため、評価基準が不明確である。 空き店舗の解消だけでなく、須坂市のまちづくりのコンセプトを定め、地区ごとのまちづくりの方向性に沿った出店を誘導するなど、まちの将来像に合致するよう事業をすすめていただきたい。 この事業で開業した店舗のPRや、この事業を利用して開業した者同士の集まる場所を設ける等のサポートを行ってはどうか。	14,400	15,860	「まちの将来像に合致するよう事業を進めてほしい」という意見については、出店希望者の意向も尊重する必要があるため、意見を尊重したうえで、事前相談時に地区ごとの特色などを説明するようにします。	進め方 の改善
7	観光物 産品の 開発	商業観光課	簡易な 改善	引き続き、信州須坂みそ料理の會の活動を支援するほか、民間の土産品等の開発や販路拡大に対して相談及び支援を行う。	進め方 の改善	市民がアイデアを持ち寄り、その中から商品化可能なものを形にして販路にのせていくなどのプロセスも大切にし、須坂らしいお土産が、市の補助で出来たと成功事例を作っていたいただきたい。 品物の開発だけでなく、須坂の良さを伝えられるようなツアー企画など、ソフト面も幅広く支援していただきたい。 県や教育機関の事業や専門家のアドバイスを、コストをかけずに利用することも可能であるので、市は橋渡し役を担い、それらを有効活用していただきたい。	300	300	「販売にいたるプロセスやソフト面の支援の重要性について」は、申請者との協議の際に熟度を上げるようにします。また、専門家のアドバイスについても必要に応じ活用していきます。	進め方 の改善

No	事業名	担当課	市の評価	市の評価意見	外部評価	外部評価員意見	25年度 予算 (千円)	26年度 予算 (千円)	対応及び 担当課の考え	26年度に 向けての 市の評価
8	観光資源の連携と戦略的広報	商業観光課	総合計画に沿って継続	地域の活性化に結びつく、戦略的な観光誘客を検討する。	抜本的見直し	<p>評価対象の中でもこれに関連している事業があるが、実施内容が類似する事業と精査統合するなど効果的、効率的な事業推進が必要不可欠である。</p> <p>観光客の滞在時間が小布施町より須坂市の方が長いという報告があった。捉え方は様々あるが、このようなことも上手に活用し、戦略的に広報の方法を練っていただき、須坂のブランド力、知名度を上げていただきたい。</p> <p>市民に須坂の良さを知ってもらうことで、市民も広報の役目を果たすことができ、知名度を上げることに貢献できるのではないかな。</p> <p>この事業をやめてほしいという意味ではなく、期待を込めた「抜本的見直し」の評価である。</p>	51,441	48,531	「類似する業務は精査統合するなど効果的、効率的な事業推進が必要である。」との意見に関して、地域活性化事業(政策推進課)中の「信州須坂プロモーション事業」を統合し、事業を一本化します。	抜本的見直し
9	農業後継者対策事業	農林課	簡易な改善	須坂市の農業を現在のレベルで維持するには、新規就農者(農家子弟含む)を毎年10人程度は確保する必要がある。新たな制度を入れたことで、若い就農希望者(45歳以下)からの問合せも増えているので、都市部での就農相談会等で制度を積極的にアピールしたい。	簡易な改善	<p>新規就農者増加に積極的に取り組んでいただきたい。荒廃農地解消対策や人口増加にも資する取組みであるので、これからも積極的に事業のPRを行い、継続していただきたい事業である。</p> <p>須坂らしい農業とは、何か新たに取組みはじめることが全てではなく、今あるものを再認識し、市民とともに育てていく視点も必要である。</p>	9,901	21,109	「積極的に取り組むべき」という意見については、昨年度より受け入れ人数を増やし態勢をより充実するとともに、事業PRも積極的に行い推進していきます。	簡易な改善

No	事業名	担当課	市の評価	市の評価意見	外部評価	外部評価員意見	25年度 予算 (千円)	26年度 予算 (千円)	対応及び 担当課の考え	26年度に 向けての 市の評価
10	職業観の早期醸成事業	産業連携開発課	総合計画に沿って継続	須坂市内においては、市内中学校も独自に職場見学会を行っており、市内の子どもたちは、小学校、中学校、高等学校の各年代において、職場見学会などを通して職業観の学習をする機会ができています。 また、市内の企業・事業所・関係機関において、これらを受入れていただける協力体制ができています。 今後も、各種団体、関係機関との連携をさらに強化しながら、社会的・職業的に自立した人間の育成という目的達成のため、職業現場見学事業の内容を充実していきたい。	簡易な改善	小学校の学習カリキュラムが非常に過密になってきており、全国的にも特に長野県は学習時間が多い県であるため、こういった行事を入れるのも先生方は大変だと思う。 行事を調整する必要があると思われるが、子どもたちの仕事に対する意識を芽生えさせる良い事業であるので、是非多くの子供たちが受けられるよう教育委員会と連携を図っていただきたい。	334	400	学校に負担をかける行事としてではなく、学校の授業として行っていただけるよう、学校教育課と連携を図っていきます。	総合計画に沿って継続
11	交通安全街頭指導事業	市民課	総合計画に沿って継続	交通指導員等による街頭啓発等、視覚に訴える活動を継続実施する。	簡易な改善	安心安全という市民に関心のある内容であるので、交通指導員、警察等関係団体が連携して、地域を挙げて交通安全に取り組んでいる姿勢が見えると、安心安全に対する市民へのアピールとなる。 事業趣旨や内容、関係部署や機関との連携の「見える化」を図っていただきたい。	1,140	1,904	「事業趣旨や内容、関係部署や機関との連携の『見える化』を図っていただきたい」という意見については、広報活動の中で、連携して取り組んでいることをアピールしていきます。	簡易な改善

No	事業名	担当課	市の評価	市の評価意見	外部評価	外部評価員意見	25年度 予算 (千円)	26年度 予算 (千円)	対応及び 担当課の考え	26年度に 向けての 市の評価
12	体育施設管理運営事業	生涯学習スポーツ課	総合計画に沿って継続	緊急性のある修繕から優先に工事を行っていく。	進め方の改善	<p>国の管轄などの実情があるかとは思いますが、市民目線からすると、融通して効率的に施設を管理することはできないか。須坂市はコンパクトな自治体なので、施設管理についても効率的にできるのではないかと。</p> <p>老朽化により体育施設の維持管理負担が増えてくるが、事業推進を施設の維持管理だけ行うのではなく、施設を活用して大会を行っている市民活動を支援するなど、体育施設を管理する側と体育事業を運営する側とが連携し、効果的に事業推進をしていただきたい。</p>	130,787	64,517	<p>「融通して効率的に施設を管理することはできないか」という意見については、補助金の目的や補助金の縛り等があるので難しいのが現状です。</p> <p>また、「体育施設の管理と運営する側とが連携し、効果的に事業推進をしていただきたい。」という意見については、市民誰もがスポーツに親しめるよう諸行事を企画、実施については、生涯スポーツ事業として別に評価をしています。</p>	総合計画に沿って継続

No	事業名	担当課	市の評価	市の評価意見	外部評価	外部評価員意見	25年度 予算 (千円)	26年度 予算 (千円)	対応及び 担当課の考え	26年度に 向けての 市の評価
13	新エネルギー導入推進事業	生活環境課	総合計画に沿って継続	<p>既存補助制度について市広報、ホームページ等で周知を図って行く。自然エネルギーの普及については、県の自然エネルギー推進研究会に参加し、自然エネルギー施策について先進的、積極的に事業を行っている市町村との情報交換や、共同研究を行う。</p> <p>また、太陽エネルギー推進協議会が行う相森中学校での発電事業や、市の公共施設屋根貸し事業を推進することにより地域の活性化にも寄与するものである。</p> <p>小水力発電モデル事業については、長野県GND基金を活用し、災害時の一時避難所として位置づけをした農村公園への安定した電力供給を行うため、発電システム変更やごみ対策等が必要である。</p>	総合計画に沿って継続	<p>総合計画の基本施策にもある「地域から考える自然環境の保全」にどう結び付けるのかという事業内容を説明するわかりやすい資料を提供していただいた。</p> <p>そのような資料を活用して市民への広報や啓発が必要である。そうすることで、取り組みも広がりCO2削減、温暖化防止につながるのではないかと。</p>	10,300	37,256	<p>「資料を活用して市民への広報や啓発が必要である」という意見については、温暖化防止のためのモデル事業をさらに普及させるため、引き続き市民並びに県内外への情報発信に努めていきます。</p> <p>前年度までの事業を継続するとともに、長野県GND基金事業を重点事業として取り組んでいきます。また、公共施設屋根貸し事業の対象施設拡大について検討します。</p>	総合計画に沿って継続

No	事業名	担当課	市の評価	市の評価意見	外部評価	外部評価員意見	25年度 予算 (千円)	26年度 予算 (千円)	対応及び 担当課の考え	26年度に 向けての 市の評価
14	土地利用規制見直し事業	まちづくり課	総合計画に沿って継続	今後、関係機関と調整を行い、須坂市に相応しい土地利用規制の制度について検討を行っていく。	簡易な改善	<p>総合計画の中でも重要な事業ではあるかと思うが、規制をどのように行っていくかといった内容は、市民にわかりにくい事業である。</p> <p>目的は人口減少防止、コミュニティ維持としているので、納税者である市民がいなければ成り立たない事業内容である。</p> <p>今後提案する方針が定まった後、市民に説明するとのことだが、まちづくりに対して重要な課題である土地利用規制について、市民にも理解してもらえるように、わかりやすい説明の工夫が必要である。</p>	0	0	<p>「まちづくりに対して重要な課題である土地利用規制について、市民にも理解してもらえるように、わかりやすい説明の工夫が必要である。」との意見をいただきました。</p> <p>現在、土地利用規制の進め方について関係機関と調整をしており、方針が固まった上は、市民に理解していただけるよう、分かりやすく説明ができるよう工夫し、市民の理解を得ながら事業を進めていきます。</p>	総合計画に沿って継続

No	事業名	担当課	市の評価	市の評価意見	外部評価	外部評価員意見	25年度 予算 (千円)	26年度 予算 (千円)	対応及び 担当課の考え	26年度に 向けての 市の評価
15	地域活性化事業	政策推進課	総合計画に沿って継続	PR事業等を通じ、須坂の認知度向上のために引き続き全国へ情報発信を行うとともに、遠藤守信信州大学特別特任教授プロデュースによるクリスマスレクチャーにおいても、地域や地元高校生との関わりを大切にしながら、文化都市須坂としての意識の高揚を図る。	抜本的見直し	評価対象の中でもこれに関連している事業があるが、これら事業とも連携し、類似する業務は精査統合するなど効果的、効率的な事業推進が必要である。 この事業で得た反応を、他事業へも伝えることで効果も出てくるのではないか。商品開発から販売、市内外への宣伝などの各事業間の連携を密に図っていただきたい。 須坂市の活性化や須坂が元気になるため、須坂市民が自分のまちの良さを再認識して誇りを持つとともに、関心を寄せて市民自ら須坂市の良さをPRする行動につながるよう、全国に向けたPRも大切だが市民へも働きかけていただきたい。 この事業をやめてほしいという意味ではなく、期待を込めた「抜本的見直し」の評価である。	33,644	28,820	「類似する業務は精査統合するなど効果的、効率的な事業推進が必要である。」という意見に関して、本事業中の「信州須坂プロモーション事業」を「観光資源の連携と戦略的広報事業（商業観光課）」へ統合としました。	抜本的見直し